

◇検討委員から提出された意見シートの内容

意見	シナリオ						
	1	2	3	4	5-①	5-②	5-③
赤羽の再開発は「街作りにおける教育のあり方」が問われており区の教育振興部も委員として参加している。項目として単に“箱”の問題ではなく教育ビジョンの視点からの評価も必要。 何れのシナリオにおいても長期に渡る建設期間中移転は必須であり、学区内での環境整備は困難。従って学区問題だけでシナリオ5の③を評価から排除するのは早計。評価項目の妥当性と評価方法に関して複眼的な視点が必要。人的・資金的・更に子供にかかる負荷等様々な“コスト”面も評価対象とすべき。							
ミッション1 (1) ①重点区域内の都市基盤の強靱化 タワーマンションを建てる再開発に出る助成金の何分の一かをシナリオ2に出せば建替は進むと思う。	▲	▲	◎	◎	◎	◎	◎
ミッション1 (1) ①周辺区域含めた災害対応力の向上 タワーマンションは、揺れが大きく、又停電時には諸設備が止まる可能性があり◎とするのは不適當と思う。	▲	▲	○	○	◎	◎	◎
ミッション1 (1) ③帰宅困難者対策 帰宅支援ステーションを設置するならば、シートや毛布、水などの飲料物の備蓄が必要となるため、そのスペースを店が用意することはかなり困難である。	▲	▲	○	○	○	○	◎
ミッション1 (2) ①円滑な交通基盤の形成 幹線道路との連携で、交通問題の解決につながるような道路整備にはならない。	▲	▲	△	△	○	○	○
ミッション1 (2) ②歩行者・自転車利用者が快適に利用できる環境整備 第一地区の説明会では、地下に駐輪場を作るか、有料で24時間対応はできないと言っている。住民の希望と聞きがある。歩車分離は今の状態でも可能だと考える。	▲	▲	○	○	◎	◎	◎
ミッション1 (2) ④新たなモビリティ等の導入の検討 現在いくつかのモビリティサービスが始まっているが、歩行者との事故や飲酒運転など問題点が明らかになっている。安全が確立されないものを導入すべきではないと考える。	▲	△	○	○	○	○	○
ミッション1 (3) ①赤羽の玄関口にふさわしい顔づくり 駅前に3つまたは2つのタワーマンションがあることは異様です。平面図では感じられませんが、立体的な図にするとその異様さがわかります。	△	△	△	○	○	○	○
ミッション1 (3) ②緑あふれる憩い集える空間整備 旧西友、ダイエー周辺の風によって、救急車も出動しています。タワーマンションに空間ができて憩える場所になるか難しいと考えます。	△	△	×	×	×	×	×
ミッション1 (3) ③駅を中心とした周辺地区との回遊性の向上とウォーカブルなまちづくり 日曜、土曜の一番街周辺は多くの人であふれています。タワーマンションの店に人を引き付ける魅力があるでしょうか。むしろ閑散としてしまうのではないのでしょうか。なにせ大阪から来るリピーターがいるくらいです。	▲	▲	○	○	○	○	○
ミッション1 (4) ①都市機能の導入 (商業) (3)の③で説明したように、シナリオ3以降には魅力が感じられませんが、その上公園もなくなればララガーデンも影響を受けるのではないのでしょうか。	▲	▲	○	○	○	○	○
ミッション1 (5) ①北区ゼロカーボンシティの実現に向けたまちづくり マンションの中で、タワーマンションがエネルギー負荷が大きいことは常識になっています。マンション住民の基本生活にかかわるエネルギー消費も大きい。窓が開かないため空調はその例です。	△	△	×	×	×	×	×
ミッション1 (5) ②DXに対応したまちづくり DXは再開発のタワーマンションができなくても活用できるもので、いくらでもその実例があるのではありませんか	△	△	○	○	○	○	○
ミッション1 (5) ③エリアマネジメントの導入 最近のマンション管理組合は大規模になるほど、既存の地縁団体との連携が薄く、進まなくなっている。国土交通省の管理組合方針が大きな妨げになっている。	△	△	△	△	△	△	△
ミッション2 (1) ①安全な教育環境の確保 道路が整備されると、車の侵入が増え、かえって事故の可能性が大きくなるのではないかと考える。	▲	▲	○	○	○	○	-
ミッション2 (1) ②日照・風環境の確保 日照については、第一地区と合わせて考えると悪化する。改善ができる建て方があるのなら例示してほしい。風害は赤羽地区でも実例があり歩行が困難になる。	▲	▲	××	××	××	×	-
ミッション2 (2) ①改築計画の自由度が高い学校敷地の規模や形状の確保 学校の日照が確保できる高さの建物を建てれば、問題は発生しない。タワーマンションばかりが再開発ではないと考える。	▲	▲	×	×	×	×	×
ミッション2 (2) ③複合化等による特色ある学校づくり 赤羽会館は大きな講堂があるので、複合化は無理がある	○	○	○	○	○	◎	-
ミッション3 (1) ①区有財産の有効活用 ミッション2 (2) ③で述べたとおりである	○	○	○	○	◎	◎	-
ミッション3 (3) ①防災面 発災時の赤羽会館は、高齢者安心センター等があり、要支援の被災者の収容や支援があり、帰宅困難者には別に支援ステーションをつくるべきです。	○	○	○	○	○	○	-

◇検討委員から提出された意見シートの内容

意見	シナリオ						
	1	2	3	4	5-①	5-②	5-③
ミッション1 (1)・(5) ミッション2 (4) ミッション3 (1)		△					
長期に亘る児童たちへの影響（マイナス）		▲					
ミッション1 (5) 持続可能なまちづくりに向けた先進的な取り組み							
にぎわいの中心である赤羽の商店街（一番街・シルクロード・OK横丁）をつぶすことによる人流の変化で、日暮里駅前のタワーマンション同様ににぎわいはなくなる。	◎	◎	○	△	×	×	-
ミッション2 (1) 開発による影響の低減 (2) まちづくりを契機とした、小学校の機能や魅力のさらなる向上							
将来の建替え（60年～80年）を考えると権利が分散してしまう再開発ビルとの一体化は考えられない。また再開発ビルによる新たな住民増（赤羽小に通う児童）を考えると、現状の敷地を確保しないとキャパシティオーバーとなる。再開発ビルの高さは50m以下（第一地区も含めて）にしないと悪影響（日照・風害等）を受ける	◎	◎	△	○	×	×	-
ミッション2 (4) 改築中の教育施設の確保							
小学校の（仮）移転先がない現状では、校庭に（仮）校舎を建設するしか選択肢がない。	◎	◎	○	○	×	×	-
今までの検討会を通して、小学校を学区外への移転なども視野に入れて検討をしてきましたが、教育振興部長の倉林さんの意見を伺い、改めて大きな課題が発生してくる事に対して共感しました。近隣の小学校でも児童の人数増加に対応するために校庭を狭くして校舎を使っています。赤羽小に限ってという訳ではありませんが、シナリオ4→5になると、とても大規模にもなるかと思えます。東京の北の玄関口にふさわしいまちづくりや魅力あるまちづくりには、シナリオ3～5が良いかと思えます。学校の在り方そのものを検討会の皆さんと共有して行かなければまちづくり全体がまた振り出しに戻ってしまう様な気がします。赤羽近隣の学校の児童数や、自治会の方の意見も大事かと思えます。とりとめの意見になってしまいましたが私の立場からは以上です。	/						
ミッション1 (2) 利便性の高い交通環境の整備			○	○			
再開発を考える時、道路の確保がとても重要でありシナリオ3、4のように屈折した道路では、将来的に赤羽の核となるこの地点の道路としては不十分である。赤羽小学校では、校庭せまくなるが駅前にある小学校の宿命であり、赤羽の発展には欠かせない道路になり得ると思えます。			△	△			
ミッション2 (2) まちづくりを契機とした、小学校の機能や魅力のさらなる向上					△	△	
小学校や保育園、託児所等公共施設を複合施設に組み入れればよいと思う。防犯対策を心配する人もいるが、顔認証システム等AIを駆使すれば解決するのでは。費用はかかるが、再開発により税収は確実にUPするはずである。					○	○	
ミッション3 (1) 区有財産の有効活用	○	○	○	○			
赤羽東口は極端に緑が少ない地域であるので、赤羽公園は近所の人々のために残し、赤羽のセントラルパークにして残すべきではないか。赤羽はお酒を飲む人にとってはとても良い場所であるが、娯楽施設がほとんどなく、例えば映画館やコンサートホールなど、飲む以外の楽しめる場所を赤羽会館に誘致できたら、せんべろ一択のまちからイメージチェンジできるのではないか。	◎	◎	◎	◎			